



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

若基小CSだより

第3号

令和7年12月15日

◆◆第3回学校運営協議会を開催しました◆◆

12月10日（水）に第3回目の学校運営協議会を行いました。今回は、学習状況調査の結果、いじめ・体罰アンケート、学校評価などについて話し合いました。



【学校評価（中間評価）について】

中間評価で低い結果だった下記の2つの評価項目について意見交換を行いました。

①健康・体つくり「望ましい生活習慣の形成」

児童アンケートの結果	意見交換の内容
早寝早起きができる→78% 朝ご飯を食べている→98% 休み時間に体を動かしている→75% 	<ul style="list-style-type: none">保護者の方のおかげで、朝ご飯を食べて登校している児童が100%に近いのは大変素晴らしい。暑い時期は熱中症対策で外遊びができない現状があるので、このような結果になったのではないか。体を動かすのは大切だが、天候や体調などでできないときもあるので、80%を超えていなくても仕方がないところもある。暑さがおさまってからは、朝から外遊びをしている児童もたくさんいる。

②郷土愛「ふるさとを愛する児童の育成」

児童アンケートの結果	意見交換の内容
基山町のよいと思うところ（低学年1つ以上、中学年3つ以上、高学年5つ以上）が言える→75% 	<ul style="list-style-type: none">生まれてからずっと基山町で育っている子供は、すべてが当たり前で良さと感じることが難しいのではないか。まずは、大人（先生や親）が基山町の良さを知り、子供に伝えていくことが大切。今すぐには基山町の良さが分からなくても、大人になってから「基山町がふるさとでよかったです」と思えるとよい。ふれあいフェスタなど、基山町の行事に親子で参加することで基山町の良さを感じることができる。楽しく学ぶためには「体験活動」は欠かせない。子供のうちに様々なことをどんどん体験してほしい。郷土愛を持った子供を育てることは大切なことであるが、1年で結果を出すことは難しいので、評価項目に入れるのではなく、継続的に学んでいくといいと思う。総合的な学習の時間に「きやま学」を行っている。「きやま学」では基山町について学んでいる。小学校、中学校の9年間を通して、「大好きな基山のことを自分の言葉で自慢できる生徒」を目指して取り組んでいる。

【学習状況調査の結果について】

1学期に実施した全国学力・学習状況調査（6年生）と佐賀県学習状況調査（5年生）の結果を基に、5・6年生の課題である「書くこと」について話し合いました。

学校では、課題を解決するために、観点や条件を意識した表現活動（書く活動、話す活動など）を取り入れた授業を行ったり、読書活動を推進したりしています。

学校運営協議会委員の方からは、「表現力を高めるために読書に取り組むのはいい試みだと思う。読書活動を推進するためにどんなことを行っているのか」という質問がありました。

学校では、図書館祭りを開催したり、「〇年生で読んでほしい本のリスト」を作成したりして、あまり読書をしない児童にも興味をもてるような取組を行っています。また、国語の授業で学習した作者の本などを教室に置いて、様々な本に親しめる環境を整えています。中には、「家庭学習がんばろう週間」のときに読書に励んだり、すきま時間を見付けて読書をしたりしている児童もいます。

これからも読書活動を推進し、読解力や想像力を高め、書く力の向上に努めていきたいと思います。

